

「研修会等名称」

第24年度FD推進ワークショップ（新任専任教員向け）

場所：グランドホテル浜松

期間：平成24年8月6日～8月7日

1. 研修の内容

2日間にわたる私立大学新任教員用の Faculty Development (FD) 推進ワークショップの研修であった。

1日目は、1) FD推進ワークショップの全体説明、2) 昨年度ワークショップの参加者によるパネルディスカッション、3) グループ活動、4) 模擬講義の準備が行われた。全体説明では、日本私立大学連盟（私大連）の概要、私大連FD推進ワークショップの目的、大学職員の能力開発、FDの概要、今回のワークショップの日程等について説明を受けた。昨年度のワークショップの参加者によるパネルディスカッションでは、FD推進ワークショップがどれほど有意義なものか、さらに有効活用するためには何が述べられた。その後、他大学から来た異分野の先生方（6名）とグループ活動に移った。グループ活動では、自己紹介や日常業務にかかわる意見交換が行われた。グループ活動の後、各自部屋で2日目に行われる模擬授業の準備に移った。準備として翌日に15分で講義を行うための模擬授業ワークシート（A4用紙1枚）を80分間で作成し、夕食前までに提出することが求められた。

2日目は、1) グループ活動、2) 全体振り返りが行われた。グループ活動では、グループで参加者が順番に模擬授業を行い（15分間）、その後、15分間のコメント、感想および意見交換が行われた。最後に、全体でグループ活動の報告・意見交換を行い、閉会した。

2. 研修の成果

異分野から来た他大学の教員と交流することで、多様な視点から考えられることができるようになった。

グループ活動の模擬授業を受けている際に、板書（図解）による説明、学生の引き込み方、授業のスピード等、工夫されているところを今後取り入れていこうと感じた。さらに、授業を改善するためにはどのようにしたらいいのかについて意見交換があつて良かった。板書とパワーポイントのバランスや学生への注意の仕方等について、グループの進行役をされていたベテランの先生から良いアドバイスを受けた。また、日常業務で自分が感じている悩み（研究と教育のバランスや授業に掛ける時間等）が大学教員の共通のものであることがわかった。

最後の全体で行われた振り返りでは、発達障害を持つ学生への指導にかんして、グループ内で出なかった意見を聞くことができ有意義なものであった。

3. 授業への研修成果の反映状況

これから授業で、今回のFD推進ワークショップで得たことを生かしていきたい。

学部長	FD委員長	FD委員会	企画・広報課長	係